

霞ヶ浦の野鳥

年 組 番
名前

野鳥



オオヨシキリ / ヨシキリ科



ミサゴ / ミサゴ科



マガモ / カモ科



ユリカモメ / カモメ科



オオバン / クイナ科



ダイサギ / サギ科



オオヒシクイ / カモ科



オオタカ / タカ科

水^{みず}辺には、食^すべ物や巣^{ぼしょ}の場所、ねぐらをもとめてたくさんの鳥^{あつ}が集ま^あってき^あます。夏^{なつ}になると、水^{みず}辺に広^{ひろ}がるヨシ原で「ギョギョシ ギョギョシ ケケス ケケス ケケス」と鳴^なくオオヨシキリの姿^{すがた}やヨシゴイなどの夏^{なつ}鳥が見^みられ、ツバメやスズメがねぐらをつくるためにおれをな^なしています。冬^{ふゆ}になると、マガモやコガモ、ハシビロガモなどのカモ^なの仲間^{なかま}や、ユリカモメとい^いった、たくさん^{ふゆどり}の冬^{ふゆ}鳥が冬^{ふゆ}をこすために湖をおとずれます。これらの鳥や湖の魚などをねら^ねって、オオタカやミサゴなどの猛禽類^{もうきんるい}もや^やってきます。稲敷市^{いなしきし}の稲波干拓^{いなみかたく}には、関東地方^{かんとうちほう}でたった1カ所のオオヒシクイの越冬地^{えっとうち}とな^なっており、毎年冬に60羽ぐらいがとんできます。

* その他学習資料 霞ヶ浦環境科学センター・霞ヶ浦河川事務所